

## 阪南大学 2022 年度事業計画実施報告 外部評価報告書

評価実施日：2023 年 8 月 30 日

評価項目：□教育活動 □研究活動

評価実施外部団体：松原商工会議所

評価者所属：専務理事

氏名：実貴 一仁

2022 年度事業計画実施報告の外部評価を実施した結果、以下の通り報告します。

### 【総評】

同大学は、松原市内における唯一の大学として、松原市・松原商工会議所との包括連携協定を締結していることから、地域への参画を積極的に行っており、兼ねてより産官学連携を実践しておられる。

加えて、同大学が所在する天美地区に店舗を構える株式会社池田泉州銀行や大阪信用金庫等の金融機関、その他経済団体等との連携も強化し、大学（学生）と社会との相互交流に力を入れることにより、教育理念の一つである「学生が社会に出てから成長できる実学教育」の実現に取り組んでおられる点は大いに評価でき、引き続き注力して頂きたい。

今回の評価項目である「教育活動」「研究活動」の充実に向けた取組については、学生における能動的学修の促進、AI・データサイエンス関連教育分野での文部科学省によるプログラム認定等の項目をはじめ、計画・目標に対して達成されている項目が一定数存在することから、概ね高評と言える。

尚、詳細については、評価票の通りである。

### 【各評価項目】

各評価項目は別紙を参照

以上

2022 年度事業計画実施報告 外部評価票

評価者：松原商工会議所

評価項目	2022 年度事業計画（外部評価対象項目）
B-1	教育活動の充実に向けた取組 (1) 学部教育の充実と質の保証 (2) 大学院の充実 (3) 教育組織の充実 (4) 地域連携の推進 (5) 企業連携の充実 (6) 生涯学習の充実
評価点 (5 段階:5 が最高点、1 が最低点)	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
評価概評	<p>(1) 学部教育の充実と質の保証について、新入生の初年次教育にかかるサポートやアクティブラーニングの促進、教育成果の厳格な評価確立を目的に導入されたルーブリックを活用した授業方法調査等における項目では、新型コロナウイルス感染症の影響が収束しつつある中での学生生活を充実させることを目的として、一定の効果を上げている。また、AI・データサイエンス関連教育においては、いち早く 2020 年度から講座を設置・充実させてきたことを受け、関西の有名国立大学と並んで文部科学省の認定（前年度取得より上位難易度にあたる応用基礎レベル）を取得されたことは高評に値し、今後の精度向上に期待したい。一方、社会人向け講座については、前年度の反省・改善が活かしきれていない面が見受けられるため、より具体的な対応策の検討が必要と思われる。</p> <p>(2) 大学院の充実について、今年度は論文の質的向上に注力され、A 評価の対象者が増加したことは評価できる。今後は、A 評価の率の向上にも努めて頂きたい。</p> <p>(3) 教育組織の充実について、キャンパス一元化に向けた建設工事は計画通りの進捗状況であること、また、時代の変化を迅速にキャッチし、新学部・学科の設置を進められている。</p> <p>(4) 地域連携の推進について、地産地消フェア「まつばらマルシェ」や松原ブランド認定事業「La Matsubara」の他、同大学が所在する地区に 2021 年に誕生した大型商業施設セブンパーク天美との連携を強化し、地域交流が活発に行われている。一方、大学間連携においては、補助金の採択を含め、積極的な働きかけを推進して頂きたい。</p> <p>(5) 企業連携の充実について、様々な企業や地域団体と協働で事業を実施していただける点は評価できる。</p> <p>(6) 生涯学習の充実について、社会人向けリカレント教育の開催方法の検討等、改善に取り組んで頂きたい。</p>

- ・各評価項目の取組みについて、取組みの状況、結果、課題等を客観的に評価してください。
- ・評価項目は 5 段階評価点と評価の概評を記載願います。

2022 年度事業計画実施報告 外部評価票

評価者：松原商工会議所

評価項目	2022 年度事業計画（外部評価対象項目）
B-2	研究活動に充実に向けた取組 (1) 研究の推進 (2) 研究支援体制の充実 (3) 図書館機能の充実 (4) 地域連携の推進 (5) 企業連携の推進
評価点 (5 段階:5 が最 高点、1 が 最低点)	5 ・ 4 ・ <b>3</b> ・ 2 ・ 1
評価概評	<p>(1) 研究の推進、および (2) 研究支援体制の充実について、同大学独自の支援制度への申請件数は減少しているものの、研究業績は増加傾向にあることから、引き続き、成果に結びつくよう研究に邁進して頂きたい。また、外部研究資金獲得の面では、科研費の採択率が 40% と過去数年と比較しても高水準となっている点は評価できるため、新型コロナウイルス感染症の影響が収束してきたことから、今後は申請件数自体の増加にも期待されたい。</p> <p>(3) 図書館機能の充実について、設備の充実、電子化への対応等が積極的に図られており、実来館者だけでなく、遠隔による利用へのサービス向上に取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>(4) 地域連携、および (5) 企業連携の推進について、国際観光学部の積極的な活動が実績として紹介されており、大阪府下のみならず、他県との地域まちづくり事業に関して、委託事業を継続して取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>一方、大学間連携による研究や地域連携による研究においては、一定の活動報告はあるものの、実績を図る目標や数値が設定されていないため、評価し難い。どちらの研究も重要であると思われるので、何らかの指標を設定することで、より充実した活動に結びつけて頂きたい。</p>

- ・ 各評価項目の取組みについて、取組みの状況、結果、課題等を客観的に評価してください。
- ・ 評価項目は 5 段階評価点と評価の概評を記載願います。